

長浜市 平成30年度主要施策

選ばれるまち・活躍できるまちの実現!!

◆長浜の魅力为全国に向けて発信
活力あるまちに

「長浜の光」・文化財を未来につなげます
長浜曳山祭に代表される誇るべき有形・無形の文化財が本市にはキラ星のようにあります。すべての文化財を調査し、総合的に保存活用するための基本構想を作ります。

首都圏で市の魅力発信

東京上野の「びわ湖・長浜 KANNON HOUSE（観音ハウス）」や都市連携協定した台東区の施設で情報発信や現地誘客を促すイベントを行います。また首都圏で長浜を応援する人のネットワークの構築や台東区からクリエイターを招いて新しいモノづくりを生み出す取り組みを実施します。

明治維新から150年
近代化遺産をPR

鉄道が整備され、県内初の小学校や銀行ができるなど、大いに繁栄した明治期の長浜。市内に残る明治近代化遺産の魅力を紹介するパンフレットやマップを作成し、明治をテーマとした観光誘客を図ります。また明治期に活躍した先人等の展覧会も行います。

長浜の魅力を写真で発信

「ひと」の魅力を写真で発信する講座や取材の仕方などを学ぶ講座を行い、長浜の魅力を再発見し、積極的に発信する市民を増やします。また市公式インスタグラムの一般投稿数を増やし、官民協働で市の魅力をPRします。



▲長浜曳山祭子ども歌舞伎

予算額 385万円

予算額 2,980万円



▲びわ湖・長浜KANNON HOUSE

予算額 669万円



▲旧長浜駅舎

予算額 380万円



▲ローカルフォトアカデミー

◆市民みんなで子育て・若者の挑戦を応援

小学校給食費を無料

次代を担う子どもたちの成長を市民全体で支えるための小学校給食費補助事業を継続し、安心して子育てができる環境を整備していきます。この施策は、10万人規模の都市では長浜市だけです。

予算額 2億5,896万円

笑顔で子育てできるまちへ

新たにサービスを開始した「子育て応援アプリ」を活用し、健診やイベントなどの子育て情報を提供するほか、プッシュ通知によるお知らせ機能の充実を図るとともに、一時預かり託児についても、アプリで予約できるようにします。

予算額 5,140万円

第2子以降の保育料負担を軽減

幼稚園・保育所・認定こども園の保育料について、保護者の所得に関係なく、すべての第2子を半額、第3子以降を無料とします。

軽減見込み額
2億4,100万円

待機児童ゼロへ 保育サービスを拡充

保育人材の確保のため、新たに長浜で保育士となった人の家賃助成や奨学金返還の支援等を行います。さらに幼稚園舎を活用した「保育ルーム」の拡充などで受け入れ環境を整備します。また、放課後児童クラブの受け入れ拡大にも取り組みます。

予算額 3億3,619万円

予算:学校教育費の中で進めます。

地域で子育て「子どもの駅」構想の推進

幼稚園の空き部屋等を使った子育て相談、おむつ交換台などを置く店舗への補助、居場所づくり事業等を実施する団体の支援などを行います。また、豊公園が親子でより楽しめる公園となるよう整備に向けた設計をします。

予算額 6,373万円

高校生プロジェクト始動

高校生が、市民、大学、企業などと関わりながら、まちづくりプロジェクトに挑戦する機会を提供します。また長浜出身、在住で活躍している人を人材バンクに登録し、市内高校で講座等を行います。

予算額 150万円



▲学校給食



▶子育てアプリ



▲Android用



▲iPhone用



▲保育ルーム



▲高校生ワークショップ